

平成17年11月経営協議会議事録()

- . 日 時 平成17年11月22日(火) 13時30分～14時55分
- . 場 所 けやき会館レセプションホール
- . 出席者 古在学長, 早川, 伊集院, 有馬, 井上, 伊東, 土屋, 松本, 石橋, 山根, 宮崎, 天野, 藤井, 藤澤(武), 堀, 山口, 藤澤(英) 各委員
(欠席: 川並, 白戸, 石垣各委員)

- . 前回経営協議会議事録について
原案どおり承認された。

. 審議事項

1. 国立大学法人千葉大学職員給与規程等の一部改正(案)について

学長から国立大学法人千葉大学職員給与規程等の一部改正(案)について審議願いたい旨提案があった後, 山根理事から資料に基づき説明があり, 審議の結果, 原案どおり承認された。

なお, 審議の過程において, 次のような意見が出された。

- ・法人化になった後も, 人事院勧告に準拠する必要があるのか。
- ・役員のボーナスの引上げを取りやめたことは姿勢を示すためであると思うが, 指定職の報酬も全体の給与体系のバランスに基づき決定されるので, 今後, 引上げに支障を来す恐れがあるのではないか。
- ・他大学の状況を見ると, 何らかの抑制措置を講じている大学が多いようなので, 千葉大学においても抑制が必要ではないか。
- ・公務員の給与は今後さらに厳しくなるが, ずっと準拠していくのか。
- ・評価の結果を見ると悪くないのに, 減額になるのか。国立大学法人の運営は基本的には多くを国家予算によっているが, 今後, 考え方を整理した方が良いのではないか。
- ・今後, がんばって収入増となった時のインセンティブをどうするのか。「区別」と「差別」は違うということを認識する必要がある。
- ・法人化の趣旨を踏まえ, 新たな給与体系を作る必要がある。
- ・人事院勧告に準拠することを基本としながら, 評価の観点も考慮すべきである。
- ・効率化係数による運営費交付金の減額に対応するため, 人員削減を進めている。また, 光熱水料の削減も進めている。財政状況は極めて厳しい状況にある。
- ・優れた教員を確保するため, 外部資金の活用も検討されたい。

・収入の一助として、国立大学の募金活動はどのように行われているのか。現在、基金の設立について検討しているところである。

2. 常勤役員の期末特別手当（ボーナス）について

学長から平成17年12月における常勤役員の期末特別手当（ボーナス）については定額（標準）を支給することとしたい旨提案があり、審議の結果、承認された。

・報告事項

1. 国立大学法人評価委員会による平成16年度評価の結果について

天野理事から国立大学法人評価委員会による平成16年度評価の結果について、資料に基づき報告があった。

なお、報告の後、次のような意見が出された。

- ・他大学の状況を見ているが、年度計画の達成度が低いと厳しい評価を受けているようだ。6年というサイクルであるが、社会情勢等により目標を期間開始当初より高く設定し直すことも考えられる。中期計画は見直ししながら進めてほしい。
- ・少ない経費で、より効果的な成果、実績を上げる工夫が必要である。

2. その他

(1) 人事計画の検討状況について

藤井理事から今後の人事計画について、短期的な計画はある程度まとまってきたが、中・長期的な計画については、さらに検討中である旨の報告があった。

会議終了後、「21世紀COEプログラム拠点（超高性能有機デバイスフロンティア）」及び「サイエンスプロムナード」を視察した。

以 上